

別紙様式 2

授業科目名	漢字・漢語と文化	大学名	作新学院大学
科目区分	VU連携講座	開講時期	後期（9月16日～1月16日）
学部・学科等	人間文化・心理コミュニケーション	曜日	火曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	4時限（14時40分～16時10分）
標準対象年次	全学年	授業形態	講義
単位数	2単位	授業会場	作新学院大学
担当教員名	玉城 要		
電話番号（代表者名）	028-667-7111	e-mail アドレス	
オフィスアワー	授業終了時に面談の予約を取ってから、質問や相談に応じる。		
授業の概要	<p>&lt;授業の目標及びねらい&gt;          そもそも日本語と無関係に発生した漢字や漢語を、私たちは日本語の中でどのように扱っているのか。それが日本の「文化」とどのように関わっているのかという観点から考察するのがこの授業の目的です。多くの学生の皆さんが高校までに学んできたような「漢文」の読み方を説明したり、「漢文」で書かれた詩文を紹介したりする授業ではありません（もちろん、話の「ネタ」として触れる場合はあります）。ときどき現代中国語にも触れます。</p> <p>&lt;前提とする知識・経験&gt;          このシラバスに書かれている事柄を読んで理解できるだけの日本語力があれば十分です。</p> <p>&lt;授業の具体的な進め方&gt;          毎回、担当教員が準備した空欄補充形式の講義資料をもとに講義を行う。授業終了時に、授業内容の確認、次の授業の予備学習を兼ねた簡単なクイズを実施する。          ※オンライン授業の場合は、スライド資料のpdfファイルを提示する（音声、動画は含まない。話ことばを意識した文字主体の資料とします。読めば十分に理解できます）。学生は、毎回、授業終了時に授業の内容に関連した簡単な課題を解答・回答する。</p> <p>&lt;授業計画&gt;          第1週 漢字・漢語に対するイメージ……漢字・漢語は「日本の文化」と言えるか          第2週 「文化」は漢語か？ 「文化」の反対語は何か？          第3週 漢字を使いこなしてきた日本人その1 音読みの話          第4週 漢字を使いこなしてきた日本人その2 訓読みの話          第5週 漢字を使いこなしてきた日本人その3 和製漢語の話          第6週 「漢和辞典」は何のための辞典か？          第7週 日本人にとっての「漢字辞典」（補足：最古の字書『説文解字』）          第8週 当て字の話 その1 「嘆鶴鳴」と「明日バイト行ける鴨」          第9週 当て字の話 その2 「まじめ」「まじ」「ガチ」な話          第10週 当て字の話 その3 「とうふ」は好きですか          第11週 当て字・訓読み・記号・外来語の読み方をめぐって その1          第12週 当て字・訓読み・記号・外来語の読み方をめぐって その2 数字の読み方          第13週 当て字・訓読み・記号・外来語の読み方をめぐって その3 長い読み方          第14週 日本語における漢字使用の多様性と可能性 その1 たまごは玉子？卵          第15週 日本語における漢字使用の多様性と可能性 その2 新しい漢字は生まれるか</p> <p>&lt;教科書・参考書・教材と入手方法&gt;          指定なし</p> <p>&lt;成績評価法&gt;          毎回の授業終了時に行う内容確認と準備学習用のクイズ（30%）、学期末の最終課題（70%）の結果を総合して評価する。授業の2/3（10回）以上出席しないと評価の対象としない。（単位を取得できない。）</p> <p>&lt;教員からのメッセージ&gt;          好き、嫌い、に関係なく、身の回りにあふれる漢字・漢語に興味を持つと、ちょっと人生が豊かになるかもしれません。</p>		